

6.4 教育成果のあり方

進捗状況報告

教育効果の測定方法や成績評価の仕組みについては、これまでFD教授研究会で議論を重ねてきている。2007年度秋学期に開催されたFD教授研究会は、大手予備校の調査担当者を招き、本学部と他大学の経済・経営・商学系学部とのカリキュラム上の比較や、外部から見た本学部の教育に対する評価を知ることができ、有意義であった。

なお、2008年度のFD研究会は、現時点では春学期と秋学期にそれぞれ1回ずつ、計2回開催する予定である。春学期の研究会はFD活動に造詣の深い本学専任教員に、秋学期の研究会はFD活動に先進的に取り組んでいる他大学の教員に、それぞれ講演を依頼する予定である。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

FD活動の成果は中長期的に現れると考えられる。成績評価に関する問題意識の共有は進んでいると思われるが、成果を測る指標を模索することも含めて、FD活動に継続的に取り組みたい。

学内第三者評価

FD研究会を開催するなど努力していると認められる。教育効果の改善にどのように結び付いているのか、その成果をはかる努力が期待される。また、2007年度の評価以降、1年間でどのように進捗したのか記述することが望まれる。